

# 巻頭言

「ネット理事  
上越商工会議所会頭

## 田中弘邦

美しい自然に恵まれた上越のよさを再発見し、地域に根差した教育に力点を置けば、自ずと明日の上越を背負ってくれる人材の育成につながるはずである。人と人のネットワークづくりが、全ての原点であり、商工会議所の使命である。その為に、私も微力ながら、もうひと頑張りしなければ、と思いを新たに、今日この頃である。

### 「明日の上越を担う人材育成を」

夜、家に帰って一風呂浴びると、私は床に着く前に一服しながら今日の出来事を振り返り、明日の上越に思いを馳せる。

近頃、新聞やTVの画面では、合言葉のように景気回復の文字が躍るが、地方ではまだまだ、その実感が無い。建設業をはじめ、商業、サービス業なども依然として停滞感が強い。一部製造業で明るさがみえてきたものの、原油高や鉄鋼材料の高騰が水を差す。しかし、一時の底からは抜け出てきていることも確かである。

新幹線工事、火力発電所建設計画等、一連のインフラ整備が進み、それによる波及効果を期待する向きも多い。当然のことである。しかし、地元が本当の意味で潤う為には、多くの課題がある。

在来線問題、大型事業の地元受注促進等々、如何に進めていくか……。

市長が提言する“地元ブランド”の育成、大型店と商店街といった対立構図から一歩踏み込んだ、市民と共に考える地方都市としての街づくりのあり方……。

日々、目まぐるしく変わっていく世の中の流れの中で、如何に乗り遅れずに、リーダーシップをとっていくか、時に重責に押し潰されそうになる私だが、人の意見にも謙虚に耳を傾け、この苦難の時代に捨て石となるべく覚悟に身を引き締める思いである。

昨今、一般社会はおろか経済界に至るまで、あまりにも理不尽な理解に苦しむ事件が跡を絶たない。戦後の高度成長、バブルの崩壊の中で失われた心を取り戻し、精神的に豊かな時代を築かなければならない。

